

ならの木便り



楽しかった“お買い物”



大晦日、お正月、そして気がついてみれば1月が過ぎようとしております。テレビの画面は、今武漢で発生したコロナウイルスが毎日のように報道されております。世界に拡散していく様子を知ると、世界が狭くなったのを感じます。

一番の予防は体に抵抗力を付けることだと思います。大事なのが食事と睡眠、過剰に心配しすぎないことだと思います。園でも子供たちの様子を注意深く見守りますが、ご家庭でも、いつにも増して、家族の皆さんの体調に注意して下さい。

さて、昨年の10月上旬に行われた運動会では、年少児から年長児までそれぞれの園児たちは力を出し切って活躍しました。来て下さった来賓の方々も席を立つことなく、最後まで熱心に楽しそうに見て頂き、高い評価を頂きました。

あの日から約4ヶ月が経ちました。子供たちは、あの運動会の後も気を抜かずに体力作りに励んできました。当園には、幸いにして元中学校の体育の教師だった職員がいて、他の職員と共に、体操の正課の時は勿論遊びの時も、身体に体力、抵抗力を付けるように心がけております。

運動会に披露した〔頑張れ未来のアスリート〕の種目で行った運動、縄跳び・鉄棒・跳び箱など、その後も練習を続けてきましたが、現在の子供たちの努力の結果の一部でも皆さんに見て頂いて、子供たちの励みにしたいと思いました。そこで、3月4日(水)の今年度最後の体操教室の時間に、見学して頂けるように計画を立てました。ご都合のつく保護者の方は、なるべく来園して頂けたらと思います。よろしく願いいたします。

今回、体操の部分だけを見て頂く事になりますが、当園ではいろいろなことに取り組んでおります。全てのお子さんが、体操が得意なわけではありません。苦手なお子さんでも、例えば、お友達に優しく気を遣うことができたり好かれるお子さんもいるし、本の理解力が優れている、絵が上手、字がきれいに書ける、造形が得意、自主性があるなど、すべてのお子さんが人より優れた何かを持っています。それぞれが目に見えない部分で様々な成長をしているはずですよ。この日の参観だけでお子さんの評価をしないようお願いいたします。

ところで、先月の28日(火)は子供たちが楽しみにしていたお買い物が行われる日でした。子供たちはこの行事が大好きです。ただお買物をするだけではなく、このささやかな行事を通じて大切なことを知って欲しいという想いがあります。実際に

お金を持ってお店に行くまでに色々な準備をします。

先月の24日の金曜日には、全園児で“お店屋さんごっこ”を行いました。年少クラスはたこ焼き、年中クラスはケーキ屋、年長児はお弁当屋で、お寿司やハンバーグやラーメン、オムライスなど、いかにも工夫を凝らした商品が沢山出来上がりました。子供たちは、その制作に夢中だったそうです。私も時々覗いてみたりしましたが、皆のその真剣な様子は微笑ましいものでした。

当日は、売り手と買い手がふた手に分かれて交替で行いました。かけ声も気合いが入っていて、お客にも上手に接しておりました。

“お買い物”を体験する前に、各クラスがそれぞれ全員で、何を作ろうかと相談します。皆で出し合った意見の中から制作する物を決め、それから材料を決めて集めます。買う人がどのような物だったら喜ぶかを想像します。粗雑に作って受け取る側がっかりしないようにと心を込めて作るように指導します。子供たちは、作るということが本当に好きです。

皆、夢中で取りかかります。出来上がったら、自分の作品を販売する準備にかかり、売り手と買い手がふた手に分かれて両方を体験します。今回の年少クラスの、たこ焼き器を段ボールで作ったのをお店の脇に置いて、お客の前で巧みに箸などを使ってひっくり返していく様子、年長・年中クラスの、購入の決まった商品をバックに詰めてお客に渡すまでの連携の良さ、紙の箱を利用して作ったレジで、紙のお金をやり取りする様子など、感心する場面が沢山ありました。

企画を立てる、工夫して物を作り出す、相手の立場に立って考える、皆で協力して自分の行うべき事をしっかり行う、小規模な園だからこそ年長児から年少児、そして満3歳児クラスまで加わって、全体で盛り上がり楽しんだ“お店屋さんごっこ”でした。

そして28日の火曜日、雨のために、“お買い物”は幼稚園の2階で行われることになりました。最初に行った先生たちの寸劇は、商品をベタベタいじったり、お金を払わないのに食べたり、黙って持って行ったりしてはいけぬ等、3パターンをひとつひとつ解説をしながら子供たちに話しました。皆、真剣に聞き入っておりました。買物の場面になり、お金の受け渡しでは、品物とお金は交換するという事を学びました。

年上のお友達は、年下のお友達に注意を払いながらケアしており、これもかなり身につけてきたのを感じました。子供たちはグループに分かれて行動したのですが、待っているグループには、先生たちが絵本の読み聞かせを行ったり、手遊びをしたり、子供たちが退屈しないように工夫しておりました。“お店屋さんごっこ”と“お買い物”を通して、子供たちは様々なことを学んだことでしょう。

浜野和子